

平成31年4月1日

宗像市長 伊豆 美沙子 様
(宗像市議会議長経由)

議員名 吉田 剛



宗像市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項の規定により、以下のとおり平成30年度政務活動費収支報告書を提出します。

平成30年度政務活動費収支報告書

1 収入

政務活動費 264,000 円

2 支出

(単位：円)

項目	領収書額	政務活動費報告額
研修開催費	0	0
調査研究費	78,690	78,690
資料作成及び資料購入費	972	972
広報及び広聴費	187,960	184,338
人件費	0	0
事務所費	0	0
合計	267,622	264,000

3 残額

0 円

4 添付書類

領収書等証拠書類



No	内容	項目	費目										領収書額	政務活動費報告額			
			旅費	講師謝金	出席負担金	印刷製本費	図書購入費	備品購入費	消耗品費	使用料	郵送料	手数料			賃金	その他	
1	会派「志政クラブ」調査旅費	調査研究費	71,690													78,690	78,690
2	図書購入費	資料作成・資料購入費			7,000											972	972
3	印刷費	広報及び広聴費				60,000										50,000	50,000
4	ホスティング代金	広報及び広聴費														50,000	50,000
5	ホームページ維持管理費	広報及び広聴費									12,960					12,960	9,338
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
16																	
17																	
18																	
19																	
20																	
21																	
22																	
23																	
24																	
25																	
26																	
27																	
28																	
29																	
30																	
31																	
32																	
33																	
34																	
35																	
36																	
37																	
38																	
39																	
40																	
	合計		71,690		7,000	60,000	972				12,960		115,000		267,622	264,000	

研修開催費		
調査研究費	78,690	78,690
資料作成・資料購入費	972	972
広報及び広聴費	187,960	184,338
人件費		
事務所費		
合計	267,622	264,000

様式4

図書リスト

宗像市議会議員 吉田 剛			
図 書 名	取得年月日	税込価格	備 考
「官僚とマスコミ」は嘘ばかり	H30. 5. 1	972円	

視察・研究研修会・会議等概要報告書

宗像市議会議員 吉田 剛

項目	□ 1研修開催費 ■ 2調査研究費 □ 3広報及び公聴費		
名称	第13回全国市議会議長会研究フォーラム		
分類	■視察 ■研究研修会 □会議 □報告会 □その他()		
日程	平成30年11月14日(水) ~ 平成30年11月15日(木)		
時間	以下の通り	場所	宇都宮市文化会館
概要	<p>[第1日目] 11月14日(水)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・13:20~14:20 第1部 基調講演「地域共生社会をどうつくるか」 ・14:40~16:40 第2部 パネルディスカッション 「議会と住民の関係について」 <p>[第2日目] 11月15日(木)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9:00~11:00 第4部 課題討議「議会と住民の関係について」 <p>●第1部基調講演「地域共生社会をどうつくるか」 【宮本 太郎 氏(中央大学法学部教授)の講演】</p> <p>地域共生社会をどうつくるかが題材の中心であり、これからの日本を考える上で「2040年問題」を取り上げ、現実の厳しさとピンチをチャンスに変える発想の転換を聞くことができた。</p> <p>「2040年」には、日本人の半数が107歳まで生きる時代を予測し、定年がターニングポイントとなり、人生の中継点となることになる。</p> <p>[問題点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状のままで何かの対策をしなければ、896自治体が消えるといわれる。 ・65歳以上の生活保護受給者が現在86万人⇒200万人を超える。 ・現役世代も奨学金借入れが平均312.9万円となり、月返済額が平均1万7,206円となり、力を発揮できない状態になる。 ・「現役世代」対「高齢世代」比が、10対1⇒1.5対1となる。また、認知症の方の資産の合計が100兆円となる見通し。 ・地方圏と東京圏がそれぞれ違うかたちで持続可能性を問われる。 <p>→地方圏: 高齢化はピークを過ぎるが現役世代がさらに減少。 東京圏: 現役世代の流入もあり人口規模は維持するが、出生率が低く、さらに高</p>		

齢化。

[対 策]

・これまでの制度や分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や多様な主体が「我が事」として参画し、地域をともに創っていく社会を目指す。

・「誰もが人財」という観点で、職場の間口を広げ共生の場をつくる「ユニバーサル就労」の活用。

→業務分解しての就労の場をつくり、効率化を図る。

→フルタイムの業務ではなく、一部の業務を任せる中間的就労の場をつくる。

・自治体が高齢者や生活困窮者について、企業に同行して個別交渉しカスタマイズを行うことで、仕事の切り出しを働きかけ就労に繋げる。

・定年後の男性の地域デビューを支援することが重要。

まとめとして、超高齢化社会を迎える日本において、自治体としてのピンチは「誰もが人財のまち」、「ずっと出番のあるまち」、「必要でつながるまち」へのチャンスでもあると意識改革を行い、施策に反映していくことが重要である。

●第2部パネルディスカッション「議会と住民の関係について」

昨今の各地域の状況は急激に変化しており、「地域消滅」、「2040 構想」、あるいは小規模市町村議会の集中専門型、多数参画型のような「2つのモデル」など、危機を煽る言葉が散見されている。「危機」だけではなく、地域に根差した自治体をつくりだした教訓は、平成の大合併の成果を見れば理解できる。こうした事態は、地域が多様化、更には地域住民が分断化する時代ともいえる。

そこで少なくとも2つの課題が浮上している。1つは、伝統に基づき地域に新たな価値を創造することが必要となる。もう1つは、自治体独自では対応できない課題があり、住民自治の推進のためには、どのように地域連携に住民と議会がかかわるかを検討していくことが重要である。

[各パネリストからの意見]

・「市」の政治環境については、行政への期待度は高いが、議会への期待は低いと感じる。

・「市」の苦境としては、繰り返される合併によって、大規模・広域化した「市」は自治の基盤を失い、行政組織に偏する傾向がある。

・議会として、市民活動と協力できる余地がもっとあるのではないかと感じる。

・地域産業の担い手不足に対して、AIの導入を検討するのはどうか。また、常に力になれる「主婦力」を活かして、自立したエコノミーとエコロジーの共生と調和が必要である。

・各市で開催されている、議員と住民との意見交換会等で上がった要望に対して、委員会で仕分けして議論することが重要である。

・議員と住民との距離を縮める策として、「議会だより」を予算が掛かっても充実すべ

きだと思ふ。

●第4部 課題討議「議会と住民の関係について」

昨今の地方自治を取り巻く環境は、議会・議員批判の蔓延の一方で、議会改革が着実に進んでいると感じる。議会改革の1つの集大成である議会基本条例の最初の制定から12年が経過し、今日まで約800自治体が制定している。自主的な条例としてここまで伝播したのは稀有である。しかし、あくまで議会運営という形式にすぎず、その改革をもう一步進める時期であると考え。

[各パネリストからの意見]

・久慈市議会での事例

→議会のICT化を進め、タブレット端末を議員全員に配布し活用している。

→災害時議会マニュアルを策定している。

→参加者が集まらなかった「議会報告会」を「かだつて会議」と名称を改め、住民と語り合い、一緒に考える方式に改善して、問題共有、課題昇華の場と位置づけている。

・新潟市議会での事例

→主権者教育推進プロジェクトを立ち上げ、教育委員会や選挙管理委員会とともに取り組んでいる。対象は、中学校・高校で模擬市議会としてロールプレイング形式で行っている。

→議会事務局の予算を増やして「議会だより」を充実させ、しっかり発信することが重要と考える。

・犬山市議会での事例

→権限の限り機能した議会の構築のために、「議員間討議」「政策立案・政策提言の向上」「市民参加」の三点を進めてきた。

→議会開会中の中日辺りで全員協議会を開き、一般質問及び上程議案の内容を協議する議員間討議を開催している。

→議員間討議を導入したため、付帯決議、委員会報告等で意思表示、政策提言する機会がはるかに多くなった。

→市民参加の仕組みとして、「市民フリースピーチ」を導入し、議会開会中に公募で選ばれた市民が議場で議員に対し、市政全般に関して5分間自由に発言ができる場をつくった。市民からの意見は、全員協議会で議員間討議を行い、申し入れ等のアクションをおこしている。また、「女性議会」の開催も行っている。

・竹原市議会の事例

→議会の見える化や情報発信を推進してきたが、その中で市民の意見を聞くことで、災害時での情報をいかに正確に、早く伝えるかの見直しを行うことができ、「災害支援連絡会設置要領・議員行動マニュアル」を施行した。

様式2

所 感	<p>2040年問題の具体的な問題点を指摘されることで、改めて本市が今後どうあるべきかを深く考え、また各都市の事例を聞くことで非常に参考になった。</p> <p>「地域住民や多様な主体が「我が事」として参画し、地域をともに創っていく社会」という理想像は、コミュニティ施策の将来像にも重なりを感じる。</p> <p>今後、行政と議会がいかに地域住民と関わっていくか、実践をしながら考えていきたい。</p>
-----	---

様式2

視察・研究研修会・会議等概要報告書

宗像市議会議員 吉田 剛

項 目	<input type="checkbox"/> 1 研修開催費 <input checked="" type="checkbox"/> 2 調査研究費 <input type="checkbox"/> 4 広報及び広聴費		
名 称	保育士の処遇改善について(内閣府厚労省)		
分 類	<input checked="" type="checkbox"/> 視察 <input type="checkbox"/> 研究研修会 <input type="checkbox"/> 会議 <input type="checkbox"/> 報告会 <input type="checkbox"/> その他()		
日 程	平成30年11月16日(金) ~ 平成30年11月16日(金)		
時 間	09:15-10:15	場 所	衆議院第一議員会館
概 要	<p>平成29年12月8日閣議決定された、新しい経済政策パッケージの中の待機児童の解消において、「保育士の確保や他産業との賃金格差を踏まえた処遇改善に更に取り組むこととし、今年度の人事院勧告に伴う賃金引上げに加え、2019年4月から更に1%の賃金引上げを行う」とある。</p> <p>保育士数と年収の推移は平成25年以降上昇しているが、平成29年において、46.4万人/平均年収342万円であり、さらなる処遇改善策が必要である。</p> <p>処遇改善の推移は平成24年度以降、人事院勧告や処遇改善等加算により平成29年度、30年度は平成24年度と比較して約11%+最大4万円の改善となっている。</p> <p>また、保育士等に関するキャリアアップ・処遇改善のイメージにおいて、キャリアアップ研修を創設し、この研修を修了し、要件を満たした場合、経験年数3年以上の職務分野別リーダーは月額5千円、経験年数7年以上の副主任保育士、専門リーダーは月額4万円の処遇改善が行われる。これは平成30年度においては配分方法が見直され、それぞれの施設の実情にあった配分が出来るようになった。</p> <p>公定価格における地域区分に関しては①国として統一かつ客観的なルールの下で設定することが求められること②他の社会保障分野の制度との整合性を考慮する必要があることなど、を踏まえ国家公務員の地域手当の区分に準拠しており、国家公務員の地域手当は国の官署が所在する地域における民間の賃金水準を用いて支給地域を決定する。国の官署がない地域等については総務省が指定する地方公務員の地域手当の支給地域等を用いて決定する。この基準は人事院が決定する。</p>		
所 感	<p>地域格差に関して、宗像市がその他地域として0%に対して福津市が5級地10/100となり格差が目立つ。この基準に関しては人事院マターであり、厚労省としても受け入れるしかないが、問題は理解しているとのことだった。</p> <p>市独自の施策で待機児童解消に向けた取組は行っているが、それには限界がある。この格差解消を国としてなにかできないか確認したところ、現行の保育体制強化事業費補助金や保育補助者雇上強化事業費補助金などの活用をあげられた。今後、その活用の現状を確認していく。</p>		

様式2

視察・研究研修会・会議等概要報告書

宗像市議会議員 吉田 剛

項 目	<input type="checkbox"/> 1 研修開催費 <input checked="" type="checkbox"/> 2 調査研究費 <input type="checkbox"/> 4 広報及び広聴費		
名 称	スポーツによる地域活性化について(スポーツ庁)		
分 類	<input checked="" type="checkbox"/> 視 察 <input type="checkbox"/> 研究研修会 <input type="checkbox"/> 会 議 <input type="checkbox"/> 報 告 会 <input type="checkbox"/> その他()		
日 程	平成30年11月16日(金) ～ 平成30年11月16日(金)		
時 間	10:15-11:00	場 所	第一議員会館
概 要	<p>*ラグビーワールドカップ2019の地方財政措置として、地域交流等の取組に対する特別交付税措置の地域交流において要綱に基づく交流計画に記載した取組に要する経費(歓迎イベントの実施、選手団による現地体験、競技イベントの開催、ボランティアの研修に要する経費)などがある。宗像市はロシアを相手国として地域交流計画に登録し、第二次支援対象で決定、その概要はラグビー日本代表選手等を招き、普及啓発イベントの実施、ロシア戦のパブリックビューイング、競技普及イベントなどである。</p> <p>*2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウンとは、日本の自治体と参加国の住民等がスポーツ、文化、経済などを通じて交流し、地域の活性化等に活かしていくものであり特別交付税措置として交流活動の1/2の支援が得られる。今後の展開は①文化プログラムを活用した世界への情報発信②食文化の発信③ユニバーサルデザイン、心のバリアフリーといった地域住民の参加を促し、文化経済等多様な分野での交流が期待される。また、日本文化の魅力発信とレガシー創出へ「beyond 2020プログラム」により幅広い団体の取組を認証している。</p> <p>*スポーツによる地域活性化のためにはパブリックサービスと収益事業をともに担う事業体が必要である。新たなプラットフォーム、地域スポーツ統括組織が必要で、その特徴は「スポーツによる地域活性化を担うハイブリッド型組織」でありその価値は「スポーツを核に複合的な事業展開で自主財源を確保し、地域住民に求められる公共的なスポーツサービスを提供し、地域への経済効果をも創出する地域に不可欠な事業体」である。</p>		
所 感	<p>今後のスポーツコミッションは補助金無しで自立経営できる能力が必要で、体育協会など従来の組織の上に企画とマネージメントのできる組織もしくは人が必要である。本市にとってグローバルアリーナを中心とし、地域未来投資促進法や地方創生交付金などを活用して協働していくべきだと考える。</p>		

請 求 書

宗像市議会 宗像志政クラブ・公明党 様



観光庁長官登録旅行業第1650号

ラド観光 株式会社 福岡支店

〒 812-0011

福岡市博多区博多駅前3-10-24博多

TEL:092

FAX:092

総合旅行業務取扱管理者 担

行 先 : 宇都宮・東京

旅行期間 : 2018/11/14(水) ~ 2018/11/16(金)

ご請求金額	¥729,200
-------	----------

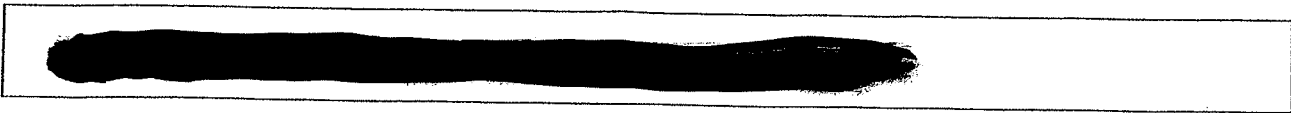
この度はご利用いただきまして、ありがとうございます。

内 容	単 価	数 量	金 額
航空券+東横INN宇都宮(1泊朝付)+グレイスリ-銀座(1泊朝付)	61,000	10	610,000
私鉄代(11/14-16) 羽田空港=浜松町(往復)	980	10	9,800
JR代(11/14) 浜松町→東京→宇都宮	4,730	10	47,300
JR代(11/16) 宇都宮→東京→新橋	4,730	10	47,300
私鉄代(11/16) 銀座→国会議事堂前・溜池山王→新橋	340	10	3,400
JR代(11/16) 新橋→浜松町	140	10	1,400
国内旅行傷害保険	500	10	5,000
取扱手数料	500	10	5,000
			0
			0
			0
			0
			0
			0
			0
			0
			0
			0

備考

ご請求総額	¥729,200
ご入金済額	¥0
今回ご請求金額	¥729,200

*お振込ご希望のお客様は下記口座までお願い申し上げます。
 その際、誠に恐縮ですがお振込手数料はお客様負担にてお願い申し上げます。
 また、振込金受領書をもって当社の領収証と代えさせていただきます。



領 収 証

№ 048120

泉陽市議会 吉田 剛 殿

平成 30 年 12 月 3 日

¥ 72,920 -

上記の金額は 1/4.16 祝儀 として領収いたしました。
今後本件についてのお問合せは下記の担当者宛にお願い申し上げます。



三ツ観光株式会社

〒812-0011 福岡市博多区
博

電話092(441)0866(代) F

観光庁長官登録旅行業 第1050号

担当者印

第13回全国市議会議長会研究フォーラム in 宇都宮

平成30年11月22日

宗像市議会 吉田 剛 様

参加費領収書

第13回全国市議会議長会研究フォーラム実

委員長

東京都千代田区平河町2-4-2

金 7,000 円

第13回全国市議会議長会研究フォーラム in 宇都宮

参加代金として

平成30年11月14日・15日開催 (宇都宮市)

2

領収証番号:000009515
2018年05月01日 No.05-000166058

領収証 吉田 剛 様

金額 ¥972-

(内クレジット利用計) ¥0 (内消費税等 ¥0)
(内現金扱い等計) ¥972 (内消費税等 ¥72)

但し 「官僚とマスコミ」は嘘ばかり
代とレ

上記正に領収いたしました。
株式会社丸善ジュンク堂書店 福岡店
〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1-10-13 MMTビル B1F~4F
電話092-738-3322

3-1-1

領 収 証

吉田 剛 様

¥ 20,000 -

収入印紙

但し

上記金額正に領収致しました

平成 30 年 10 月 15 日

内	訳
現金	円
小切手	円
手形	円

福岡県宗像市田熊六
ニシムミ

TEL (0940) 36
FAX (0940) 36

取扱者印

領 収 証

吉田 剛 様

¥ 20,000-

収入印紙

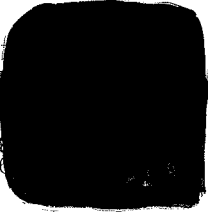
但 し

上記金額正に領収致しました

平成 30 年 11 月 9 日

内 訳	
現金	円
小切手	円
手形	円

福岡県宗像市田熊
ニシム
 TEL (0940) 3
 FAX (0940) 3



取扱者印



領 収 証

吉田 剛 様

¥ 20,000-

収入印紙

但 し 印刷代

上記金額正に領収致しました

平成 31 年 3 月 29 日

内 訳	
現金	円
小切手	円
手形	円

福岡県宗像市田熊
ニシム
 TEL (0940) 3
 FAX (0940) 3



取扱者印



領 収 書

平成 31年 3月 30日

吉田 剛 様

〒819-0161
福岡市西区今宿東2-16-21

税込合計金額	¥65,000—	税率	8%	消費税額	¥4,814
--------	----------	----	----	------	--------

品名	数量	単価	金額(税込)			
1. Go! Go! News!! 22号 A4 (1+1) 編集/印刷用完全データ作成/web公開用データ作成	一式	---			20000	0
2. Go! Go! News!! 23号 A4 (1+1) 編集/印刷用完全データ作成/web公開用データ作成	一式	---			20000	0
3. Go! Go! News!! 24号 A4 (1+1) 編集/印刷用完全データ作成/web公開用データ作成	一式	---			25000	0
4.						
5.						
6.						
7.						
8.						
備 考	合計金額				65000	0

データ取りのため印紙不要

(4)

領 収 証

吉田 剛

様

No. 316

金額

				5	0	.	0	0	0	-	

内 訳

現 金

小 切 手 /

手 形 /

消費税額等(%)

但 本紙の維持費 1080/A x 1250部

H31年 3月 31日 上記正に領収いたしました

Chocotto 編集部

〒811-3425 宗像市日

TEL 090-7



GR1619

(5)

領 収 証

吉田 剛

様

No. 317

金額

				1	2	.	9	6	0	-	

内 訳

現 金

小 切 手 /

手 形 /

消費税額等(%)

但 本紙の維持費 1080/A x 12ヶ月

H31年 3月 31日 上記正に領収いたしました

Chocotto 編集

〒811-3425 宗像市

TEL 090

収入印紙

GR1619

GO! 剛! NEWS!!

政務調査報告書

第22号

GO! 剛! ニュース22号は
オーガニック野菜による
ブランドینگです。

吉田



学校給食にオーガニック野菜を!

オーガニックとは「有機」という意味で化学肥料や農薬、遺伝子組み換え技術を利用せず、環境負担が少ない農業のことです。

伝統農芸として先人の知恵と自然の恵みで農作物を育てるオーガニックの価値観と、宗像の特性（霊性、精霊信仰、生態）が示す自然と共に生きる価値観は日本人本来のものであり、同質性があると感じます。

宗像市の学校給食の地産地消率は直売場や農家の採算度外視の協力により県内三位と先進的です。これをさらにオーガニック野菜にすることで宗像ブランドとして子育て世代に選ばれるまちになると提案しました。

しかし、多くの課題があり、対応を議論しました。

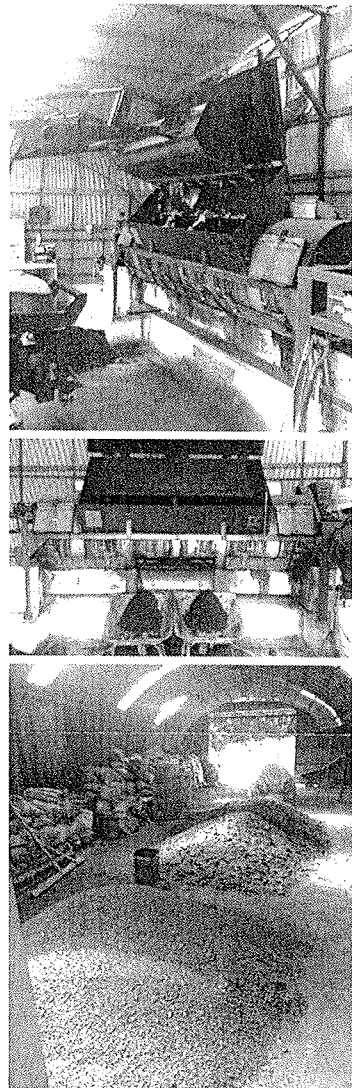
①価格差はどうする? 時期や作物によって変わるが、2-3割増になる。価格差は、農産業振興、食育、環境保全、健康といった付加価値を得るために市が補助しては。

②量と種類の生産供給は可能? 給食で年間定額定量の買取を行い需要を先に確定してから新規就農者に供給を働きかけては。オーガニック市場開拓と就農支援につながる。

③衛生管理や食品規格、配送、調理時間は? 限られた時間で安全な調理をするため現行ルールがあるが、変化することで効果を得る。農業者、学校、市と双方向で解決策を。

ひかり幼稚園では、命、つながり、自立という理念に共感した有機農家さんが協力しオーガニック給食を提供しています。

食育や体づくり、アレルギー改善などの実例もあり、学校給食の課題を検討するために、まず賛同する保育園幼稚園にオーガニックを導入し、産官学の協力のもと、モデルケースとして効果を検証してはどうか、と提案しました。



オーガニックの先駆者、農家レストランまねき猫さんは地元料理店の魚の残渣を原料に有機ぼかし肥料をつくっています。循環型の土壌環境で手間と経費、技術を使い野菜を栽培していますが、販売価格に充分反映せず、消費者の理解が今後の課題です。



2019ラグビーW杯 キャンプ地誘致は？

私はラグビーW杯キャンプ地誘致を6年間、訴え続けてきました。

世界三大スポーツイベントといわれ、アジアで初開催され、東京オリンピックに続くという重要なイベントであり、宗像のスポーツ資産を活用することで未来につながる価値を産むと考えたからです。

しかし、結果は公認キャンプ地に選ばれませんでした。

キャンプ地は各自治体からの提案内容を組織委員会が取りまとめ、出場国自体が選択します。宗像市は試合会場からの距離、宿泊グレードの2点で課題があり選ばれなかったと分析されています。

今大会はアジアにおけるグローバルスポーツの発展、ラグビー精神、おもてなし、というミッション、日本と世界を強い絆で結び協創するビジョンを打ち出し、ソフトレガシーとしています。

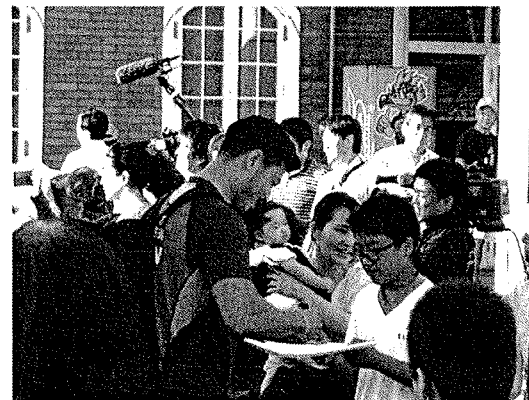
宗像市はむなかたレガシープランで未来に残す宝物を明確にして誘致を行い、古来アジアの玄関口という歴史があり、グローバルアリーナのラグビー界への貢献は世界に高く評価されています。この目に見え

ない価値が出場国に伝わっていたのか疑問です。本来、組織委員会が伝えるべきものは書面上の条件ではなく、大会の理想にそった価値ではないか、と思います。

日本代表合宿や、組織委員会の現地調査での高評価、強豪国からの打診など順調に誘致が行われている印象があっただけに、非常に残念です。

しかし、この誘致を通してグローバルアリーナの海外での知名度と海外の協議連盟との関係の深さを再認識し、日本ラグビー協会とは強いパイプができました。

今後は経験とネットワークを活かしてスポーツ環境や多様な文化に触れる機会が増加されます。グローバルアリーナの公益性を市民の共通認識にして次につなげていきたいと考えます。



日本代表の宗像市合宿。たくさんのファンが「ラグビータウン宗像」で交流を深めました。

ご意見、ご感想などメッセージ頂ければ励みになります！

日々の活動はfacebookにて
fb.me/goyo4da

吉田ごうのホームページ
non3.jp/yoshidago

一般質問の会議映像は
宗像市役所HPにて



宗像市議会議員 吉田ごう

昭和48年 3月、宗像市田熊生まれ
東郷小学校～中央中学校卒業
平成3年 宗像高校卒業
平成8年 福岡大学経済学部卒業
平成8年 株式会社トランスオービット(旅行業)
入社、平成24年6月退社
平成24年 10月、宗像市議に初当選
平成28年 宗像市議に再選を果たす
現在 宗像市久原に在住
総務常任委員会 委員長
議会運営委員会 副委員長
自民党宗像市支部 青年局長
東郷地区青少年指導員会長

吉田ごう 議員活動ダイジェスト

- 4月 宗像市長選挙が行われ、福岡県初の女性市長、伊豆市長が誕生しました。谷井前市長の功績を再確認し伊豆新市長の手腕に期待します。
- 5月 サニックスワールドラグビーユース交流大会は玄海ジュニアの卒業生が国内外の高校生としてのぎを削っていました。感動と同時にラグビー文化が根付いていることを実感しました。
- 6月 定例会。農業に関する一般質問では、20数年前に屋久島に住み込んで自然農法を試みた経験や、オーガニックに関係する人々とのご縁など、不思議なつながりを感じました。

Go! 剛! NEWS!!

政務調査報告書

第23号

GO! 剛! ニュース23号は
県道東郷停車場線の
活性化です。



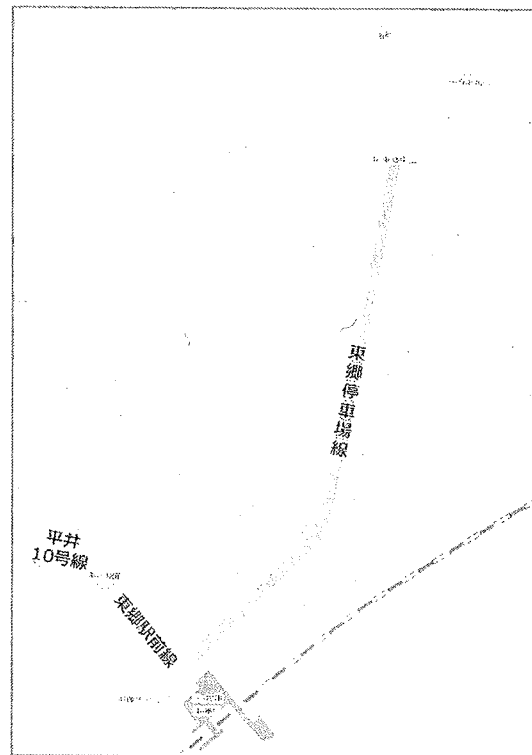
東郷停車場線の活性化を!

東郷駅宗像大社口は自由通路の改修と駅前広場の整備、旧三号線に接続する東郷駅前線が完成し、世界遺産の玄関口にふさわしい外観となりました。世界遺産登録の影響で平成29年度の駅乗降者数は1日260人程増加していますが、駅前通りである東郷停車場線にその恩恵は感じられず、シャッターの閉まった店舗もあります。

東郷駅周辺は中心商業地として日常に必要な生活サービス機能を集積する地域と位置づけられています。ハード面の整備は進んでいますが、ソフト面に関しては活性化のための補助メニューは準備されているものの、具体的な取組は行われていません。世界遺産登録はビジネスチャンスでもあり、この機運を活用した取り組みが期待されます。

駅周辺の若手経営者達によって音楽を活用したイベントが企画されています。「街角をジャズであふれさせることで、地域の活性化とにぎわいづくり、音楽を活用した魅力づくりにつなげたい」という趣旨、「地域が一体化して新しい風を呼ぶ起爆剤にしたい」という想いで活動されています。このような声が自発的に民間から上がることが転換点となり、補助メニューを活用してイベントを成功させ、音楽のあふれるまち宗像のさらなる展開や経済効果につながればと思います。

東郷駅の世界遺産を彷彿させるイメージをつなげて、東郷停車場線の街並みと道路の整備を行い、歩いてみたいと思わせる仕掛けが必要ですが、地元住民の合意形成や、県事業として実現するためには費用対効果などの課題もあります。今後の民間活力が課題解決の原動力となり、民間が主導し、行政が支援する理想形が実現すれば、と考えています。



県道東郷停車場線とは、JR東郷東口交差点（レガネット東郷前）から東郷駅へのなだらかな坂道です。今後、東郷駅前線が平井10号線、宗像福岡線とつながることで活性化の期待が膨らみます。

オーガニックとGAP認証をブランディングに活かし オリンピックレガシーに

2015年に国連においてSDGs(持続可能な開発目標)が採決され、グローバル社会の新ルールとして「持続可能性」がキーワードとなりました。東京オリンピックでもこの視点は重要視され、提供される食材はGAP認証が条件、オーガニックは推奨されています。

事前合宿においても持続可能性のあるオーガニックやGAP食材の活用が相手国の満足度をたかめる手段として注目を集めており、50年前のオリンピックでカラーテレビや新幹線が普及したように、2020年に向けて農業をめぐる状況がグローバルに変化する可能性があります。

第5回宗像国際環境100人会議では「持続可能な社会に向けて、今が時代の転換点であり、新たな文明社会を目指し、大きく考え方を転換することが必要」という議論がありました。現状ではオーガニックは消費者の理解が無いと販売価格も供給量も上がらない、GAP認証は手間と費用をかけて取得しても販売価格に反映しない、が課題です。しかし、この価格が高いか安いかわという基準が持続可能な地球環境のために良いか悪いかとい

う基準に変わる兆しがあります。

宗像には古来、自然への感謝と畏怖、自然と共に生きる感覚がありました。また、出光佐三翁は「黄金の奴隷となるなかれ」という言葉を残しています。この宗像にある価値観を活かして持続可能性を具体的な形にしたGAP認証やオーガニックを推進することは、時代のパラダイムシフトをすすめる力になると感じています。

JGAP

GAP認証とは農産物の安全保障で「よい農業の方法(Good Agricultural Practice)」、基準に従って農薬使用や水の質、農作業など様々な項目を適正に実施しているか評価する制度です。農作物の安全性や信頼を高める効果がありますが、現状では基準が多項目におよび労力と費用がかかる割に販売価格に反映していないことが課題です。

ご意見、ご感想などメッセージ頂ければ励みになります！



日々の活動はfacebookにて
fb.me/goyo4da



吉田ごうのホームページ
non3.jp/yoshidago



一般質問の会議映像は
宗像市役所HPにて



宗像市議会議員 **吉田ごう**

昭和48年 3月、宗像市田熊生まれ
東郷小学校～中央中学校卒業
平成3年 宗像高校卒業
平成8年 福岡大学経済学部卒業
平成8年 株式会社トランスオービット(旅行業)
入社、平成24年6月退社
平成24年 10月、宗像市議に初当選
平成28年 宗像市議に再選を果たす
現在 宗像市久原に在住
総務常任委員会 委員長
議会運営委員会 副委員長
自民党宗像市支部 青年局長
東郷地区青少年指導員会長

吉田ごう 議員活動ダイジェスト

- 7月 東郷小学校の山笠教室でゲストティーチャーをやるのは7年目。毎年バリエーションやもちネタ増やしてのぞんでます。追い山当日の小学校では山笠役員の息子達が立派に祝いでたと手一本をいれて地域に根付いていることを実感しました。
- 8月 夏祭りや合宿など恒例行事が続きます。第五回世界環境100人会議では「環境政策を契機にイノベーションを創出し、企業にとってはビジネスチャンス、自治体にとっては地域経済を生み出し地方創生となる」という環境と経済の融合の話が印象的でした。
- 9月 定例会では決算認定を行いました。世界遺産登録という目的に向けて全市一丸となって取り組んだ前谷井市政の総決算であったと感じました。

Go! 剛! NEWS!!

政務調査報告書

第24号

GO! 剛! ニュース24号は
稼ぐ力! についてです。



地域資源を活用して稼ぐ力に!

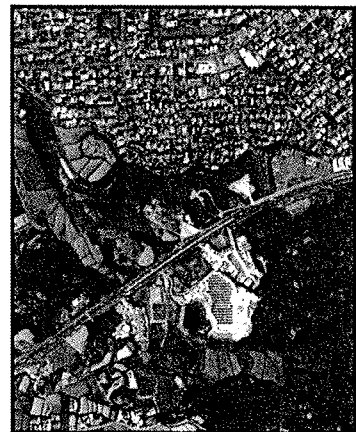
日本は15歳から64歳の生産年齢人口が約半数に減少、老年人口は増加し、人口減少の段階にはいりました。戦後の人口増加による経済発展が作った社会の常識や経済の前提は崩れ、大きな変化を求められます。この状況で自治体間競争を勝ち抜くためには、優位な地域資源に投資し稼ぐ、経営的な視点が必要になります。

市は保有する財産を民間の意見を取り入れながら、貸付、売却、活用する方針です。私有財産の活用も進んでおり、日の里団地は交通の要所に隣接し、ハードが整い、アクティブシニアの人材も豊富であることから、地域資源と捉えて投資し、稼ぐ力にすべきです。

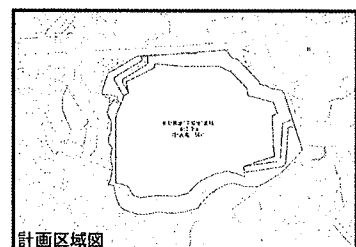
日の里パーク・アンド・ライドは3号線の公共交通の利便性を高める社会実験です。現在は6台中4台の稼働ですが、人を集めるための店舗の誘致が出来ておらず、成果を出せる投資が必要です。

起業は潜在的な人材や能力を掘り起こし、地域経済を活性化します。趣味や特技を活かす女性のプチ起業や、週末だけの起業などスタイルは多様化しており、日の里団地は起業の場としても、起業家支援施設の誘致、サテライトオフィスとしても最適だと考えます。また、店舗や飲食店としての利用のアイデアもあり、多様な活用は稼ぐ力に、そして日の里ランプ付近の土地利用の変更、開発につながる可能性もあります。

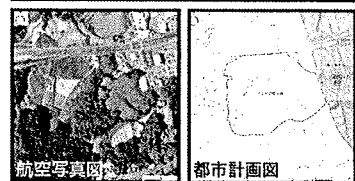
世界遺産登録を契機に企業は連携事業を展開し、市内業者は特産品開発等で成功体験を重ね、行政は稼ぐ意識を明確にしました。リスクを恐れ、変化しないのが最大のリスクです。稼ぐという方向性のもと、チーム新宗像で力をあわせて時代を切り開いていくべきだと考えます。



村山田の産廃跡地は、環境保全用地として水質検査を行い監視中です。環境基準で問題はなく、活用できる時期が来れば、地形をそのまま使えるパークゴルフ場を提案しました。



計画区域図



王丸地区の工業流通業務地の取組も進展しています。隣接した空き地もあり、積極的な働きかけ、そして自然環境や水問題に関する考慮を要望しました。

観光を稼ぐ力に



平成29年度の世界遺産登録の経済効果は、宿泊施設の消費額を含んだ観光消費額が71億7千万円、前年比約4億2千万増。道の駅むなかたは月平均売り上げ1億6千万、前年同月比で月約110万増。4月にオープンした観光お土産館は月平均売り上げ950万。来訪者は当初3倍の想定をしていましたが、前年度比で1.4倍程度となっています。

現状は受入をしながら経験を積み、次の展開へつなげていく時期だと感じています。今後の継続した成長のためには、滞在時間が延びる宿泊で消費額を増やす戦略が必要です。平成29年度の宿泊数は38万人、前年度比2万人増。ホテルは増、旅館は減、民宿は同じ。民泊は増加の予想で、それぞれの業態に応じた支援策が必要です。

「Trip Base道の駅プロジェクト」は積水ハウ

スとマリオットがロードサイド型ホテル「フェアフィールド・バイ・マリオット」を道の駅に隣接して建設し、地元の食、文化、風習、暮らしなど地域に根ざした魅力を観光する地域創生事業です。

世界最大のホテルチェーンにアプローチ出来ること、道の駅周辺の魅力向上、そして大島への観光拠点となることなど宗像の潜在能力とビジョンがうまく噛み合うことから、投資として誘致活動をすべきです。

今後、ロードトリップの増加に備えて「道の神様」宗像大社でお参りする<ロードトリップの聖地>のようなプロモーションも可能になります。

このように観光で稼ぐためには、福岡市や北九州市、そして495号線の隣接都市に働きかけて広域のDMO(観光戦略を策定・実行する観光地域づくりの舵取り役)を創ることが必要であり、そのための機は熟したと考えています。

東郷駅前の民泊、Tarou's Houseは韓国や中国、台湾などを中心にファミリーや友人同士の海外旅行者を受け入れています。素泊まりのため、周りの飲食店やスーパーを利用。料理教室や自転車ツアーなども開催しています。今後、大島や鐘崎の漁民民泊などに広がりが期待されます。



日々の活動は facebook にて
fb.me/goyo4da

吉田ごうのホームページ
non3.jp/yoshidago

一般質問の会議映像は
宗像市役所 HP にて

ご意見、ご感想など
メッセージ頂ければ励みになります!

吉田ごう 議員活動ダイジェスト

- 10月 沖ノ島、宗像大社沖津宮の社殿修復のご奉仕。神事の祝詞奏上の際には神秘的な経験をしました。
- 11月 福岡マラソンに参加しました。初フルマラソン4時間8分20秒! (ネットタイム)
- 12月 「宗像ジャズ」を東郷駅前、東郷停車場線で行いました。5箇所の店舗、18のバンドでジャズライブ。自治会、コミセン、店舗、市役所と皆様のご協力のおかげで音楽だけではなく人も街角にあふれる大盛況となりました。
- 1月 新春の集いや新年会で新年を祝います。
- 2月 赤間宿祭りでは宗像ジャズで「オニオングラタンスープ」を販売しました。完売!
- 3月 3月議会、地域の総会、卒業式と大事な行事が目白押し。16日で46歳になりました。

宗像市議会議員 吉田ごう

昭和48年 3月、宗像市田熊生まれ
東郷小学校～中央中学校卒業
平成3年 宗像高校卒業
平成8年 福岡大学経済学部卒業
平成8年 株式会社トランスオービット(旅行業)入社、平成24年6月退社
平成24年 10月、宗像市議に初当選
平成28年 宗像市議に再選を果たす
現在 宗像市久原に在住
宗像市監査委員
自民党宗像市支部 青年局長
東郷地区青少年指導員会長

